

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	11-	4
会計	款	項
特会	3	3

事業名	生活支援体制整備事業（介護特会）
政 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために
施 策	3-3 高齢者福祉の推進

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	地域住民、NPO、事業者等	目的（対象がどのような状態になっているか）	生活支援コーディネーターを配置するとともに、協議体を設置し、高齢者を支える地域の支えあいの体制づくりを推進する。さらには、各地域において元気な高齢者をはじめ、住民主体の活動やNPO、民間企業等多様な主体による、高齢者の日常生活を支援する多様なサービスの提供体制を構築することにより、高齢者が活躍する街づくりができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターの配置・・・社会福祉協議会へ委託し2名配置。 協議体の設置・・・生活支援体制整備事業の推進に必要な事項を提案し協議する。 地域支えあい活動支援事業・・・支えあい活動団体に対し、立ち上げ軽費を補助する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
1	住民主体による介護予防・地域支えあい活動登録団体数	28	34	33	団体	↑	24
2	地域支えあい活動登録団体数	17	20	20	団体	↑	28
3							
4							
5							
		令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）	
全体事業費（千円）		8,300		8,480		9,273	
財源 内訳	うち一般財源	1,909		1,951		2,133	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町閑与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	引き続き、生活支援コーディネーターを中心に、それぞれの地域で担い手となる人材の発掘、育成を行う。また、地域支えあいの深化をより推進するため、生活支援コーディネーターの効果的な活動圏域設定について検討する。	③取組の課題	地域主体で取り組みを進める必要があるため、時間を要する。
②R6年度に実施した取り組み	生活支援コーディネーターを中心に地域の取り組みに対し支援を行い、居場所づくりや地域での支えあい活動が広がりつつある。	④今後の改善計画	引き続き、生活支援コーディネーターを中心に、それぞれの地域で担い手となる人材の発掘、育成を行う。